

投稿論文募集のお知らせ「iSRED 2026」

2024 年度から九州大学高等研究院と東北大学学際科学フロンティア研究所の連携で、毎年開催される IAS-FRIS Symposium on Social Robots and Ethical Design は、国立台湾大学人文情報学研究センター、香港大学法律&テクノロジー研究センター、ソウル大学校データサイエンス大学院など戦略的パートナーの参加により、福岡と仙台での開催という枠を超え、東アジアの大学との交流に焦点を当て、会議名を International Symposium on Social Robots and Ethical Design (iSRED) に変更し、招待者限定の会議から CFP 論文公募の会議に変更することを決定しました。

学際研の翁准教授（九州大学高等研究院クロスアポイントメント）が実行委員長を務める国際学会 International Symposium on Social Robots and Ethical Design (iSRED) では投稿論文の募集をしておりますので、お知らせします。

[新 iSRED の特点]

1. 学際査読・出版システムの構築: ロボット倫理を中心として工学、心理学、人文社会科学、学際科学四つ分野、Advanced Robotics, Human-Robot Interaction, Philosophy and Public Policy, Interdisciplinary Sciences 設置します。
2. 世界トップレベルの百人査読委員陣: ロボット倫理を中心として工学、心理学、人文社会科学、学際科学、四つの分野で AI ロボット倫理分野のもっとも有名な学者の招聘が 100 人に達します。
3. 革新的な組織: 研究ネットワークを活用: 東北大学学際研と九州大学高等研の戦略的連携で、革新的な組織「ROBOLAW.ASIA 研究ネットワーク」の立上げ、そして、(1) エンボディド AI ハブ（東北大学拠点）、(2) 創造的な ELSI ハブ（九州大学拠点）による 2 つの文理横断機能ハブにより iSRED が開催されます。

[投稿論文募集]

iSRED 2026 年間テーマ

「責任あるロボティクスの実現に向けたデザイン思考の活用」

締め切り: 2026 年 7 月 31 日

技術の進歩が従来の立法プロセスを常に上回っているため、ソーシャルロボットの開発において「設計によるコンプライアンス」が急務となっています。本シンポジウムでは、人間中心の反復的な方法論であるデザイン思考が、責任あるロボティクスの基盤となる枠組みとしてどのように機能するかを探ります。

デザイン思考の中核原則である「共感、定義、構想、プロトタイプ、テスト」を適用することで、開発者は単なる技術的機能にとどまらず、人間とロボットのインタラクションに内在する倫理的、法的、社会的影響 (ELSI) に対処することができます。一例として、ロボット倫理に関する BS 8611 規格に統合された「倫理設計」アプローチは、プライバシーの喪失、感情的な依存、アルゴリズムのバイアスといった社会的リスクを早期に特定することを可能にします。

反復的なプロトタイプリングと利害関係者のフィードバック ループが透明性と説明責任をどのように促進するかを示す、社会的に埋め込まれたシステム (ソーシャル、医療や支援ロボットなど) のケース スタディ/理論的分析を提供する投稿を歓迎します。

[スケジュール]

論文提出期限: 2026 年 6 月 1 日~7 月 31 日

ワークショップ提案書提出期限: 2026 年 6 月 1 日~7 月 31 日

採択通知: 2026 年 8 月 31 日

早期登録: 2026 年 8 月 31 日開始

提出方法 iSRED 2026 大会 HP をご参照ください。

<https://www.isred-ethical.design/>

[iSRED 2026 シンポジウム]

日時：

2026年11月10日—2026年11月11日

場所：

九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館稲盛ホール（ハイブリッドイベント）

論文投稿受付期間：

2026年6月1日—2026年7月31日

主催：

九州大学高等研究院

共催：

東北大学学際科学フロンティア研究所

東北大学工学研究科ロボティクス専攻知能機械デザイン学分野

国立台湾大学人文情報学研究センター

オスロ大学大学院情報科学研究科

技術的な共催：

IEEE 技術の社会的影響に関する学会（SSIT）

本シンポジウムの目的は、哲学者、法学者、社会学者、心理学者、情報科学者、そしてロボット工学者の間で、学際的な対話を促進することです。単一分野への過度な集中を避けるため、採択論文（IEEE Xplore の要件にも準拠）の出版構造を、前身である旧 IAS-FRIS シンポジウム「社会ロボットと倫理的デザイン」のそれと同等とし、4つの主要セッションに分けました。工学分野は「先進ロボティクス」、心理学分野は「ヒューマン・ロボット・インタラクション」、人文社会科学分野は「公共政策と哲学」、そして学際科学分野は「倫理設計とガバナンス」です。iSRED 2026 の Proceedings では、4つのセッションすべてを均等にカバーすることを目指していますが、特定のテーマへの投稿が多すぎる場合や少なすぎる場合は、必要な調整を行います。

iSRED 2026 シンポジウムのトピックは、以下の通りです

(ただし、これらに限定されません)。

- ◎ ソーシャルロボットの社会的、倫理的、環境的影響
- ◎ 人とロボットのインタラクションにおける自動化、AI 倫理、社会正義
- ◎ デザイン思考が社会システムとロボットガバナンスに及ぼす影響
- ◎ ソーシャルロボットとデジタルトランスフォーメーション
- ◎ 工学倫理教育におけるロボット技術の課題
- ◎ ソーシャルロボットと未来の仕事
- ◎ 新興ロボット技術と国連の持続可能な開発目標
- ◎ 倫理、規制、そして新興ロボット技術
- ◎ 人文社会科学から見たロボット技術の展望
- ◎ 気候変動、持続可能性、そして新興ロボット技術
- ◎ ロボット倫理の教育
- ◎ ロボットイノベーションと社会的責任の未来